

福岡県医発第845号（総）
平成18年7月14日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 横 倉 義 武



「第14回ノバルティス地域医療賞」受賞候補者の推薦について

標記につきまして、ノバルティス地域医療賞委員会から推薦方依頼がありました。

本賞は、全国各地で地域住民の保健衛生向上のために著しく貢献された日本医師会会員を顕彰する制度です。受賞者は、各都道府県医師会長から推薦された候補者の中から、ノバルティス地域医療賞委員会（委員長・唐澤祥人日本医師会長）にて選考されます。

つきましては、別添規定に該当される方がありましたら候補者推薦書により来る 10月20日（金） までにご推薦いただきますようお願い申し上げます。

なお、

1. 叙勲ならびに日本医師会最高優功賞や他の医療賞などを受けておられない先生で、地域に密着した医療活動にあたっておられる先生方などを、ご優先に賜りますようお願い申し上げます。
2. 推薦される場合は、あらかじめ電話等でご連絡願います。正式な「候補者推薦書」をお送りいたします。
3. 該当者がいない場合もその旨ご連絡下さい。



「ノバルティス地域医療賞」の規定

- <目的> 全国各地で住民に密着して医療活動に従事し、優れた功績をあげ、地域住民の保健衛生の向上に著しく貢献された、日本医師会の方を表彰する。
- <主催> ノバルティス地域医療賞委員会
- <後援> 社団法人 日本医師会
- <表彰> 日本医師会長、または各都道府県医師会長から、推薦された応募者を「ノバルティス地域医療賞委員会」（日本医師会の代表、学識経験者、ノバルティス ファーマ株式会社の代表で構成）にて、受賞者を選考し、毎年一回表彰する。
受賞者には賞状と記念盾及び副賞 100 万円を贈呈する。

- <応募要領> (1) 対象者
日本国内を主たる活動地とする日本医師会員とする。
(グループ活動は除く)
- (2) 推薦
原則として、1 推薦者から 1 名とする。
- (3) 応募方法
推薦者は所定の用紙にて推薦し、本年は 10 月 31 日迄にノバルティス地域医療賞委員会事務局に提出する。
- (4) 事務局
「ノバルティス地域医療賞委員会事務局」

〒106-8618

東京都港区西麻布4丁目17番30号

ノバルティス ファーマ株式会社

渉外部内

電話：03-3797-8519

FAX：03-3797-4497

※ ご応募に際しての推薦書記載の個人情報に関しましては、本賞の選考や受賞者の報道関係者への発表に使用させていただき、それ以外の目的には利用いたしません。

「ノバルティス地域医療賞」候補者推薦書

都道府県医師会長推薦

(ふりがな)		男	M	(11月1日現在)	所 属	医師会
候補者氏名		女	T	年 月 日	医師会名	
			S	(満 歳)	会員区分	A① A② B C
(ふりがな)					電話番号	()
現 住 所	〒□□□-□□□□					
[推薦都道府県]				[推薦都市区]		
医師会名				医師会名		
会 長 名				会 長 名		
住 所				住 所		
電話番号				電話番号		
略 歴 (主なる履歴を記入下さい)						
年 月～ 年 月						

ノバルティス地域医療賞の規定

目 的：全国各地で住民に密着して医療活動に従事し、優れた功績を挙げ、地域住民の保健衛生の向上のために著しく貢献された、日本医師会会員の方を表彰する。

主 催：ノバルティス地域医療賞委員会

後 援：社団法人 日本医師会

表 彰：日本医師会会長または各都道府県医師会会長から候補者の推薦を受けて、「ノバルティス地域医療賞委員会」（日本医師会の代表、学識経験者、ノバルティス ファーマ株式会社の代表で構成）が受賞者を選考し、毎年1回表彰を行なう。
受賞者には賞状と記念盾および副賞 100 万円を贈呈する。

記 入 上 の 注 意 事 項

- 候補者は日本医師会会員であることが条件です。所属医師会名、会員区分欄を必ず記入下さい。
- 推薦者は都道府県医師会長に限ります。都道府県医師会長は都市区医師会長より提出された候補者に対し審議し、表彰規定に照らし功績顕著と認められた個人中より1件に限り推薦して下さい。
- 推薦都道府県医師会会長名欄並びに都市区医師会会長名欄を記入し、それぞれ公印を押して下さい。
- 主なる功績内容** 最近の功績を中心に項目別に区分し具体的に（いつ、どこで、何を、どのくらい、どのように、どのような効果をあげたか）説明し顕著な活動をした状況が十分把握できるよう記入して下さい。（1,200字以内に収めて下さい。）
- 提出資料名** 功績内容に関する資料はNoを付し、提出資料名欄に記入して下さい。
- 候補者の顔写真** 推薦を受けられる個人の顔写真を提出して下さい。

主 なる 功 績 内 容 (1,200字以内)

No.

提 出 資 料 名

(候補者の写真を添付して下さい)

ノバルティス地域医療賞

これまでの受賞者

(五十音順・敬称略)

第1回 (1994年)

無医地区における診療を一貫して実践、
保健行政にも貢献した

小川 武満 [神奈川県医師会]

地域に密着した医療とともに、
県内の消化器集検に大きな寄与

北村 廉作 [静岡県医師会]

早くから社会福祉事業に取り組み、
今日の基礎を築く

清永 恕 [宮崎県医師会]

さまざまな形で、
学校保健や学校現場との連携に尽力

杉田 肇 [大分県医師会]

感染症をはじめ、
地域での保健衛生行政に多大な貢献

橋本 博 [大阪府医師会]

第3回 (1996年)

患者のための最高の医療を志す
地域医療の実践で、多くの住民から慕われる

織田 敏郎 [群馬県医師会]

500例以上の川崎病を経験し、
独自の治療法を確立

黒岩 翠 [岐阜県医師会]

在宅ケアや公衆衛生への取り組みで、
さまざまな協力体制の推進を行う

福島 功 [岡山県医師会]

学校医、ボランティア活動などを通じ、
総合的な見地から地域医療の向上に貢献

藤原 寿則 [愛媛県医師会]

診療所に保育室を併設するなど、
古くから母子保健活動を実践

保坂 智子 [大阪府医師会]

第2回 (1995年)

都市部の地域医療とともに、
日本における肺癌検診モデルを確立

塚部 祥生 [東京都医師会]

半世紀以上にわたり地域医療に貢献し、
地域住民の心の拠り所となる

花田 カヅ [島根県医師会]

長年、地域住民に有線放送で医学情報を提供、
スポーツ医としても種々の提言を行う

原 治 [京都府医師会]

へき地での巡回診療や小児成人病検診を実施、
疾病予防の推進に尽力した

堀田 廣行 [宮城県医師会]

地域住民の在宅医療への意識向上など、
強い信念に基づく活動を実践

室生 勝 [茨城県医師会]

第4回 (1997年)

山間部医療の実践とともに、地域における
救急医療センター設立へ大きく貢献

伊藤 盛夫 [京都府医師会]

在宅医療事業の先駆的な実践など、
一貫した在宅医療への取り組み

庄司 眞 [宮城県医師会]

早くから感染症サーベイランスの必要性を
訴え、O-157発生時には的確な処置に貢献した

鈴木 邦明 [埼玉県医師会]

難聴児と健聴児の一緒に保育など、
保健、福祉の先駆者として貢献した

徳光 裕子 [東京都医師会]

県独自の検診体制の確立に尽力し、
がん発見患者数の増加に大きく貢献した

牧角 仙丞 [鹿児島県医師会]

第5回
(1998年)

国内初の産婦人科医による乳がん検診など、
「がん撲滅」活動で高く評価される

齋藤 一夫 [宮城県医師会]

医師会独自の休日急患診療所の開設など、
広く地域住民の健康増進に貢献

角田 勤 [群馬県医師会]

全国に先駆け痴呆性老人のショートステイ導入など、
一貫した地域住民福祉への貢献

三輪 淳 [静岡県医師会]

包括的地域医療システムの早期実現や、地域医学的
リハビリシステムの確立に指導的役割を果たす

山口 肇久 [神奈川県医師会]

各務原市をモデル地区とした24時間体制の
在宅ケアシステム構築を企画

渡辺 茂樹 [岐阜県医師会]

第7回
(2000年)

年中無休、24時間対応の
地域医療に40数年

内藤 光二 [佐賀県医師会]

へき地での往診診療40年と
児童保健指導

奈良 邦夫 [愛媛県医師会]

地域の医療と
明るい社会作りへの貢献

萩原 謙二 [東京都医師会]

眼科検診による地域貢献と
角膜・腎バンクの設立

平田 敏夫 [広島県医師会]

介護の充実と、病診連携、
情報交換システムの構築

森 澄 [愛知県医師会]

第6回
(1999年)

長年にわたり島嶼部の医療の充実に努め、
大学とのネットワーク化を進めた

浮田 春雄 [香川県医師会]

住民の保健・医療・福祉の連携をモットー
とする医療活動センターの建設に尽力

大井 康 [宮城県医師会]

市民の健康づくりのため、自らも
参加する「ニコニコベース」運動を実践

清沢 博 [福岡県医師会]

県内における病診連携の原点をつくり、
「かかりつけ医推進モデル事業」を率先して進めた

金城 和男 [沖縄県医師会]

乳幼児の健全な発育に貢献し、
豊かな情操教育を目的とした
学校保健教育を提唱

齋藤 五彦 [鳥取県医師会]

第8回
(2001年)

医療過疎地域での手術を中心とした
医療活動と警察への協力

島田 作 [高知県医師会]

花粉症対策と幼児～生徒までの
一貫検診システム構築

中山 壽孝 [徳島県医師会]

戦後沖縄での小児疾病治療と
保健衛生や救急体制に尽力

長田 紀春 [沖縄県医師会]

在宅医療・福祉への貢献と障害者への
ボランティア活動

福島 弘毅 [神奈川県医師会]

地域救急医療体制の構築と
在宅介護の充実

牟田 博夫 [長崎県医師会]

第9回
(2002年)

農村高齢者介護に始まった超高齢化社会での
保健・医療・福祉の統合

有村 周雄 [鹿児島県医師会]

長年の僻地住民に対する保健の向上と
医療の確保への尽力

浦 淳市 [和歌山県医師会]

県内のウイルス肝炎対策事業の
発足と推進

諏訪 求仁雄 [岐阜県医師会]

地域住民に肉親のように接する
木目細かな医療への取り組み

高橋 康 [埼玉県医師会]

戦中・戦後を通じた
60年にわたる地域医療への貢献

福永 光子 [秋田県医師会]

第11回
(2004年)

農村高齢者介護に始まった超高齢化社会での地
域住民への講演の継続と地区医師会関連活動

上原 正夫 [埼玉県医師会]

離島へき地医療の充実と
向上への尽力

瀬戸上健二郎 [鹿児島県医師会]

へき地医療と地区医師会施設への
多大な貢献

竹内 清海 [山口県医師会]

地域住民の日常生活に密着した
保健医療サービスと救急医療への尽力

町井 二作 [三重県医師会]

辺地や離島の身体障害者検診と
障害者更正相談事業推進

松村 哲男 [長崎県医師会]

第10回
(2003年)

早くからの社会福祉活動に寄せた
献身的な医師活動と地区医師会活動

浅川 春巳 [東京都医師会]

専門医としての地域に密着した医療と
地区医師会の方向作り

飯田 英夫 [兵庫県医師会]

ホームドクターとしての地域医療と
地区医師会の自主研修制度の創設

佐藤 幸子 [埼玉県医師会]

へき地学校検診、肢体不自由児の医療管理と
感染症連絡体制の構築

柳内 統 [北海道医師会]

戦後半世紀にわたる地域医療と
母子保健の向上への貢献

吉田 春子 [沖縄県医師会]

ノバルティス地域医療賞10周年記念賞
40年に亘る山間地での地域医療活動

松田 泰彦 [鳥取県医師会]

第12回
(2003年)

市医師会役員としての
医師会事業への取り組み

姉崎 赳夫 [兵庫県医師会]

地域住民の信頼が厚い
「女赤ひげ先生」

佐伯 輝子 [神奈川県医師会]

地域の医療・保健・福祉分野の充実への
強力な指導力の発揮

佐藤 博 [岡山県医師会]

親子三代の
地域に根付いた医療

山根 林 [島根県医師会]

女性医師として戦前から現代まで
長年にわたる地域医療への貢献

吉本 ミチ [秋田県医師会]

「ノバルティス地域医療賞」の規定

- 〈目的〉 全国各地で住民に密着して医療活動に従事し、優れた功績をあげ、地域住民の保健衛生の向上に著しく貢献された、日本医師会員の方を表彰する。
- 〈主催〉 ノバルティス地域医療賞委員会
- 〈後援〉 社団法人 日本医師会
- 〈表彰〉 日本医師会長、または各都道府県医師会長から推薦された応募者を「ノバルティス地域医療賞委員会」（日本医師会の代表、学職経験者、ノバルティスファーマ株式会社の代表で構成）にて受賞者を選考し、毎年1回表彰する。
受賞者には賞状と記念盾および副賞100万円を贈呈する。
- 〈応募要領〉
- (1) 対象者
日本国内を主たる活動地とする日本医師会員とする。
(グループ活動は除く)
 - (2) 推薦
原則として、1推薦者から1名とする。
 - (3) 応募方法 推薦者は所定の用紙にて推薦し、毎年10月末にノバルティス地域医療賞委員会事務局に提出する。
 - (4) 事務局
「ノバルティス地域医療賞委員会事務局」
〒106-8618 東京都港区西麻布4丁目17番30号
ノバルティス ファーマ株式会社 渉外部内
電話：03-3797-8519 FAX：03-3797-4497